

ABMAビジネスセッション



「企業の礎を創る技術訓練のススメ」

財団法人 建築物管理訓練センター
教務委員 渋谷 勝利



本日お話しする内容

1.ビルメンテナンス業職業訓練の成り立ち

- ・ビルメンテナンス業職業訓練が求められた背景
- ・建築物管理訓練センターの成り立ち

2.建築物管理訓練センターの役割

- ・訓練センターが行っている職業訓練について
- ・ビルメンテナンス業についての調査研究、情報提供について
- ・企業から、社会から求められる職業訓練を行うために
～ 訓練センターが担っている役割、今後の展望～



ビルメンテナンス業 職業訓練の成り立ち

ビルメンテナンスにおける社会的な動き

1966(昭和41)年

「**多数人利用建築物の衛生基準の設定**」

1970(昭和45)年

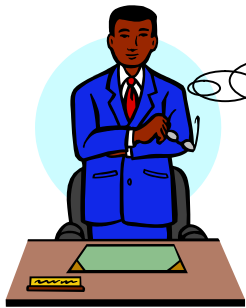
「**建築物における衛生的環境の確保に関する法律**」

ビルメン

職業訓練の成り立ち

全国協会さん、何とか
なりませんか？

ビルオーナー



ビルの衛生管理をしなきゃ
いけないけど自分じゃ出来
ないし、委託するにしてもど
うすればいいのか...

従業員の教育や指導
の知識、レベルアップ
が出来ればもっと仕事
がはかどるのに...

ビルメンテナンス企業



全国ビルメンテナンス協会

環境のいいビルを
利用したいな...

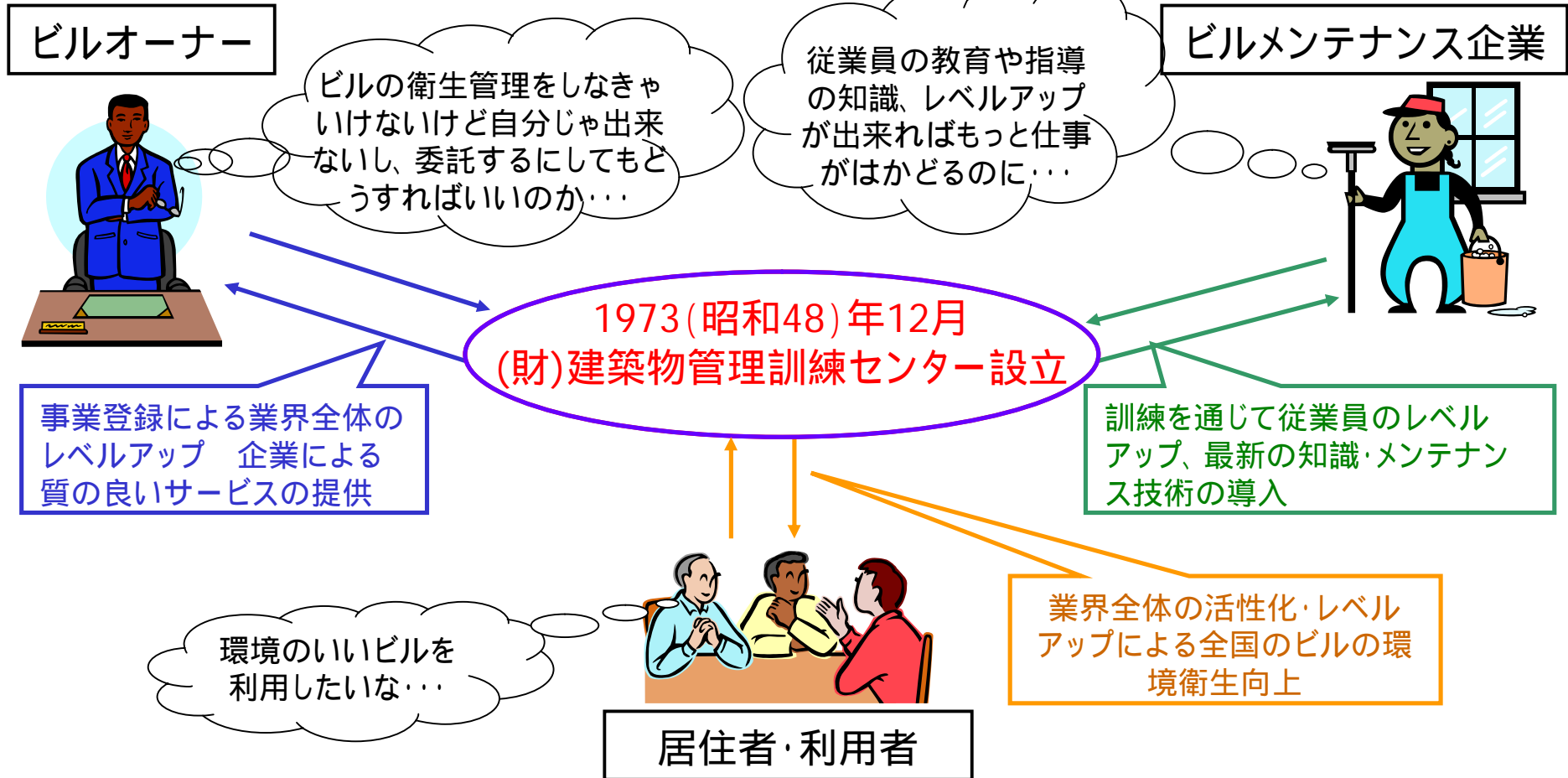


居住者・利用者

ビルメン

ビルメンテナンス業界
の健全な発展の実現

職業訓練の成り立ち





建築物管理訓練センターの役割

1. 職業訓練の実施

ビル管理技術の修得支援

「ビル設備管理技能士」「ビルクリーニング技能士」等
国家検定受検用訓練

2. ビルメンテナンス業務の調査研究・情報提供

訓練科目内容の改訂、時代に即した訓練の提供

全国9地区の指導講師を集め、講習会の実施、テキストの改訂、通信添削水準会議等指導体制の充実

1. 職業訓練の実施

職業訓練の種類	
	ビルクリーニング科通信訓練単一等級技能士コース
	ビルクリーニング技能検定受験準備講習
	ビル設備管理科訓練受検準備講習
	ビル設備管理科訓練1級・2級技能士コース
NEW	エレベーター閉じ込め救出作業者基礎研修
NEW	カーペットメンテナンス新時代セミナー

企業と連携し、新たに設立された職業訓練科目です。時代のニーズに応え、有能な人材を育成するというセンターの設立趣旨に基づいた試みの一つといえます。

1. 職業訓練の実施 - 訓練の体制-

全国9地区の訓練センターで職業訓練を実施
受講場所を分散することにより、受講生の利便性を図る



1. 職業訓練の実施 - 訓練の体制 -

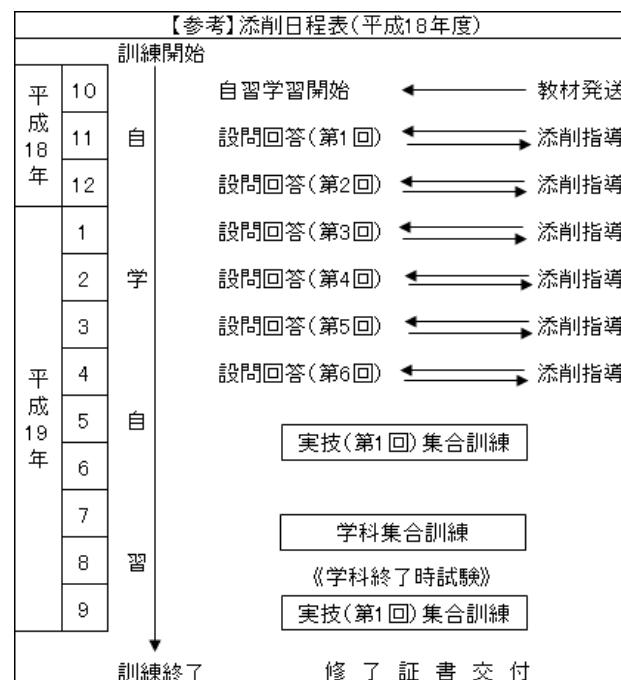
全国9地区の訓練センターで職業訓練を実施
 受講場所を分散することにより、受講生の利便性を図る

【訓練指導の体制(ビルクリーニング通信訓練)】

ビルクリーニング通信訓練
 各支部指導講師数
 (通信:平成18年度)

支部	指導講師数
北海道	9
東北	10
東京	32
関東甲信越	42
中部	17
近畿	31
中国	16
四国	14
九州	37
合計	208

ビルクリーニング通信訓練
 添削日程表
 (通信:平成18年度)



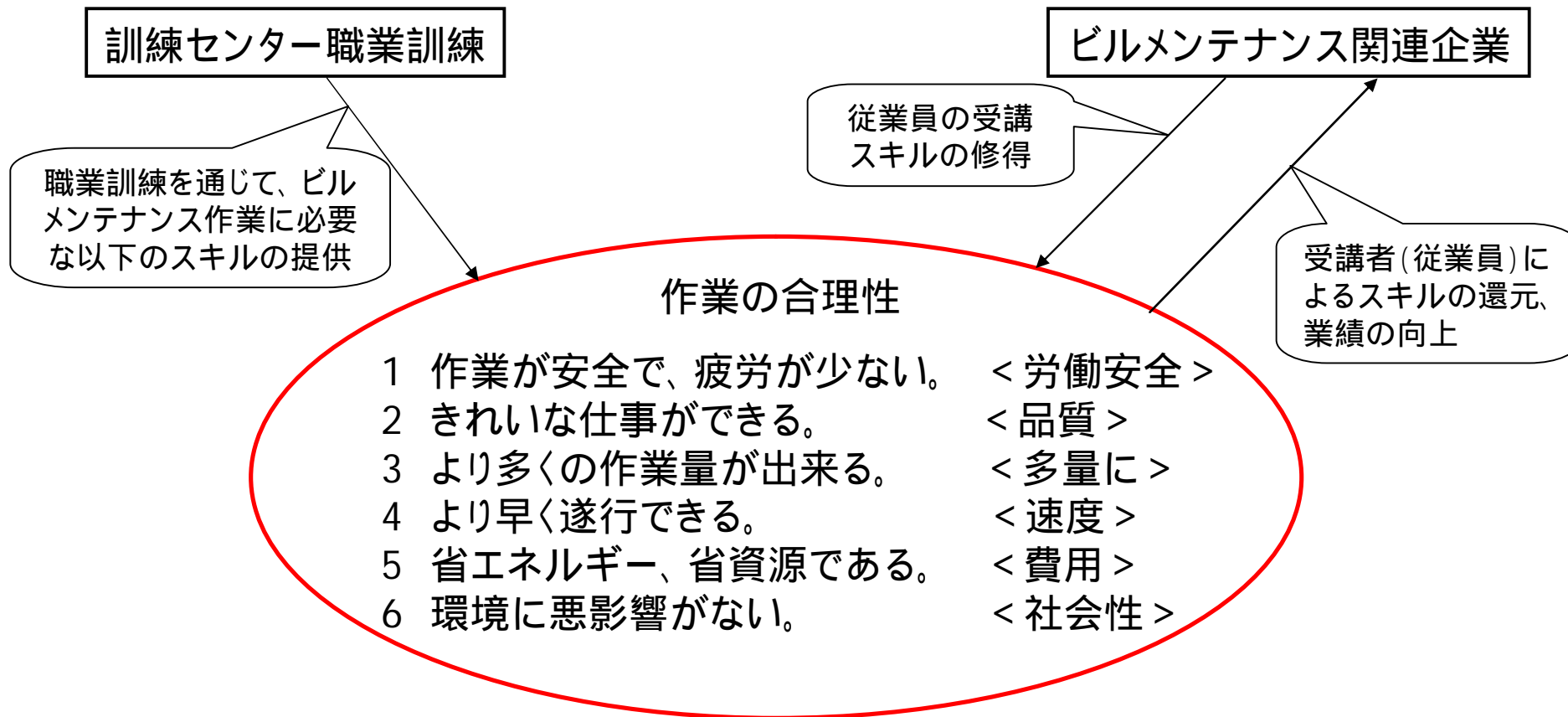
1.職業訓練の実施 -訓練の体制-

全国9地区の訓練センターで職業訓練を実施
受講場所を分散することにより、受講生の利便性を図る

【受講人数推移(ビルクリーニング通信訓練)】

	北海道	東北	東京	関東甲信越	中部	近畿	中国	四国	九州	計
1983	50	40	107	126	73	78	61		109	644
1984	44	37	113	77	44	77	30	40	75	537
1985	57	40	102	92	62	74	27	22	44	520
1986	63	47	133	139	71	82	33	24	74	666
1987	66	36	119	117	67	94	35	29	62	625
1988	46	46	121	91	50	89	27	23	63	556
1989	45	30	110	115	69	90	37	29	80	605
1990	35	40	129	106	69	72	24	30	93	598
1991	44	33	120	102	59	73	45	36	61	573
1992	36	59	136	116	74	96	43	32	81	673
1993	53	60	140	131	83	79	53	33	109	741
1994	58	40	149	141	83	100	44	37	78	730
1995	38	60	164	133	69	62	45	26	93	690
1996	46	54	167	128	90	83	48	34	68	718
1997	39	56	154	120	90	87	69	17	78	710
1998	34	49	151	118	86	103	46	33	82	702
1999	38	50	143	126	98	82	47	29	68	681
2000	21	56	130	138	87	69	41	41	84	667
2001	36	36	144	103	90	74	50	24	93	650
2002	29	40	112	96	80	64	37	38	94	590
2003	32	46	124	133	90	71	44	28	104	672
2004	26	45	99	116	68	59	33	54	97	597
2005	26	34	87	114	71	55	31	20	91	529
2006	24	38	80	75	65	21	18	22	85	428
計	986	1,072	3,034	2,753	1,788	1,834	968	701	1,966	15,102

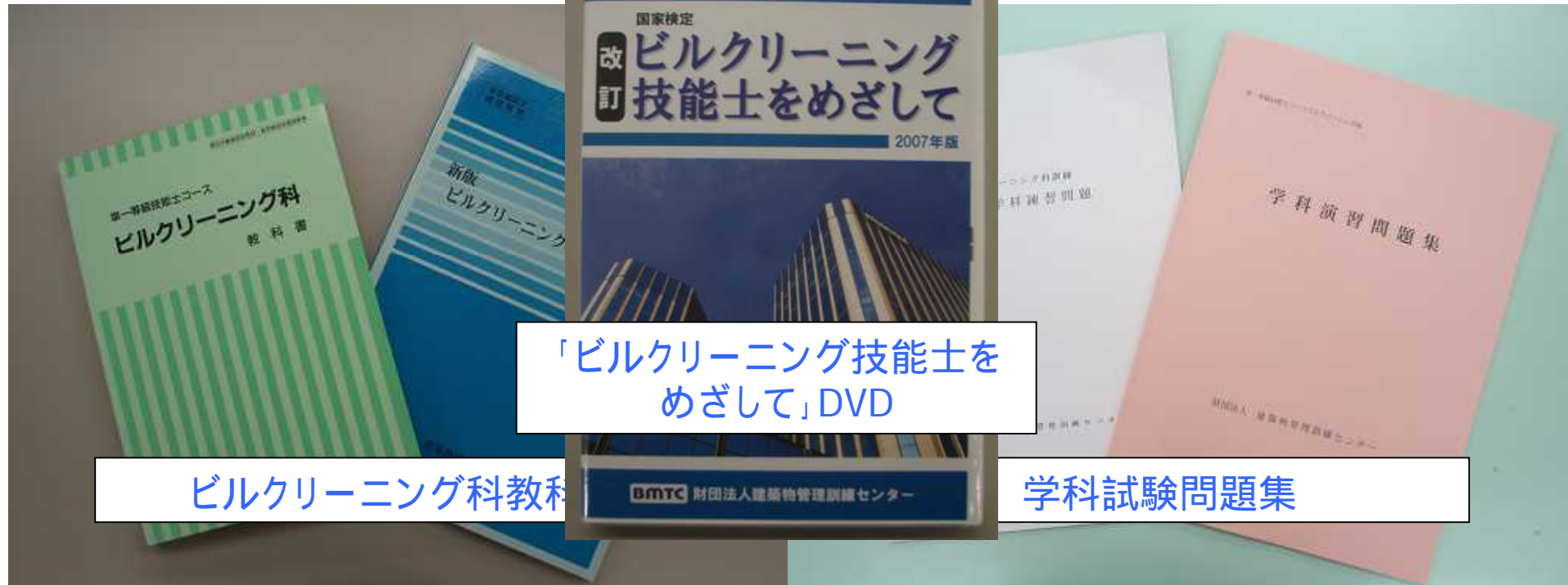
1. 職業訓練の実施 - 職業訓練の意義 -



2.ビルメンテナンス業務の調査研究・情報提供 -ビルメンテナンス訓練用教科書の作成-

ビルメンテナンス訓練用教科書・DVDの作成

ビルメンテナンス職業訓練に使用する教科書・DVDを、訓練センター講師の協力により作成 職業訓練の内容に即した教材を独自に作成することにより、訓練内容の充実・効率化を実現



「ビルクリーニング技能士を
めざして」DVD

ビルクリーニング科教科書

学科試験問題集



2.ビルメンテナンス業務の調査研究・情報提供 -指導講師のレベル向上-

各地区指導講師の水準調整、指導書の作成等

各支部のビルメンテナンス職業訓練講師の養成、レベル向上を図るため、定期的に水準調整会議を行うとともに、講師指導書を作成し、講師のレベル向上に努めている。また、テキストの改訂など、時代の変化にも柔軟に対応し、企業からの要望、社会的に求められる人材の育成を行っている。

2.ビルメンテナンス業務の調査研究・情報提供 -指導講師のレベル向上-

講師指導書の紹介

作業工程	作業方法	注意点	備考
作業開始	指定のスタートラインに立ち、指導員の“始め”の掛け声で作業開始を申告する。	作業開始後は資機材を直前に置けない。	資機材の手置・点検終了後
(1)作業指示板を立てる。	①作業指示板をセットする。	作業の邪魔にならない人口位置、転落時のコーナー部分に立てる。	
(2)ボリッシャーをセットする。	②ボリッシャーをセットする。 ③ボリッシャーを運転台ならびに発着禁止ホールドライバー、クマドリをボリッシャーの近くへ置く。 ④スタンドを引き出して、ボリッシャーを寝かせる。 ⑤プラグをコンセントに差し込む。 ⑥レバースイッチを全入れ回転状態を確認する。	作業の邪魔にならない人口位置、転落時のコーナー部分に立てる。 ・ボリッシャーの駆動に足まかせて ・プラグを挿して待たまで差し込む ・目と手で回転状態を確認する	



作業工程	作業方法	注意点	備考
作業開始	指定のスタートラインに立ち、指導員の“始め”の掛け声で作業開始を申告する。	作業開始後は資機材を直前に置けない。	資機材の手置・点検終了後
(1)作業指示板を立てる。	①作業指示板をセットする。	作業の邪魔にならない人口位置、転落時のコーナー部分に立てる。	

⑦前進しながらごみ出口に向かってヘッドに集める。	⑧ヘッドをケップ柄から外して、使用済みのゴミボックスをとり、ホートの袋へ入れる。	⑨ヘッドはホートの上段へ邪魔にならないように置き、柄は元の位置に戻す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケップは、汚さない、破らない、押さない、ぶつけない ・押し廻しが主な駆動源となるように ・ごみの上を歩かない ・机の下の邪魔も確認に気をつける ・ゴミボックスは汚れた面を内側に折り返す ・ホートの上段へゴミが落ちないようにする 	入りも転落コーナーも注意作業
--------------------------	--	-------------------------------------	---	----------------

2.ビルメンテナンス業務の調査研究・情報提供 -指導講師のレベル向上-

訓練の様子



訓練センターが担ってゆく社会的役割 -今後の展望-

建築物の高層化・多様化・複雑化

昨今の技術革新により、今後ますます従事者の専門性、ビルメンテナンス、環境衛生の重要性は高まっていくことが予想される。

訓練センターが担ってゆくこと

・ビルメンテナンス業務の啓発活動

ビルメンテナンスが環境衛生の維持・改善を図る業務であることを社会全体に浸透させてゆく

ビルメンテナンス従事者の待遇改善、ビルメンテナンス業界の社会的認知度の向上とともに業界全体の発展に寄与してゆく

・職業訓練の充実

ビルメンテナンスの意義・目的・役割を明確にし、従事者のスキル・知識向上を引き続き図ってゆく

高いビルメンテナンススキルを持った人材の育成により、ビルメンテナンス業務現場の業務改善及び高い環境衛生の実現